令和８年度事業計画書

職業能力開発促進法及び定款の定めるところにより、職業訓練の振興、職業能力検定及びその他の職業能力開発に関する業務を行うため、宮崎県並びに関係団体と密接な連携を図りながら、職業人として社会に役立つ労働者の養成及び技能労働者の経済的、社会的地位の向上を目指し、次の事業を行う。

Ⅰ　総務関係

１　総会・理事会等の開催

（１）第４８回通常総会　　令和８年６月４日(木)　　宮崎観光ホテル
（２）第１回理事会　　令和８年６月４日(木)　　宮崎観光ホテル
（３）第２回理事会　　令和９年３月予定

２　各種会議への参加

・九州ブロック職業能力開発協会連絡会議（専務理事・総務担当者会議）【沖縄県】

３　職業能力開発関係表彰・伝達式の開催

４　広報誌「能力開発みやざき」の発行

年２回、各９００部発行

５　会員の加入促進

６　技能士会等との連携・協力

Ⅱ　職業訓練振興関係

１　訓練振興事業

宮崎県や認定職業訓練校等の職業訓練実施機関との連携に努め、職業訓練指導員の資質の向上を図るとともに、企業等で働く人々の能力開発を支援するため、社員研修を実施する。

（１）各種会議等への参加
① 宮崎県認定職業訓練団体長及び事務担当者会議【宮崎市】
② 九州ブロック認定職業能力開発校長会議【佐賀県】
③ 九州ブロック職業能力開発協会連絡会議（技能検定・訓練担当者会議）【長崎県】

（２）職業訓練指導員講習（４８時間講習）の実施
職業訓練指導員として必要な指導方法等に関する講習を年１回実施する。
実施予定日：令和８年７月１日（水）～７月３日（金）、７月８日（水）～７月１０日（金）

（３）社員研修
働く人々の職業能力の開発及び自己啓発を支援するため、研修会場で開催する一般研修（「階層別研修」、「テーマ別研修」）と、企業等に出向き開催する「出前研修」を実施する。
一般研修会場：宮崎県技能検定センター
※一部の研修についてはオンラインにて実施。

○一般研修（全６８回）　　★はオンライン研修

種類	研　修　名	開　催　日
階層別研修	新入社員研修１【基礎２日間編】	４月６日～７日・９日～１０日
	新入社員研修２【基礎１日集中講座】【ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ実践】	４月１４日　５月１８日
	新入社員研修３【スタートアップ編・働く力】	４月２１日　★４月２３日 ５月１３日
	新入社員研修４【スタートアップ編・ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ】	６月２３日　６月２４日 ★　６月２６日
	新入社員研修５【フォローアップ編】	１０月２０日　１０月２１日 ★１０月２７日
	新入社員研修６【ステップアップ編】	１月１３日　１月１４日 ★　１月１９日
	新入社員研修７【中途採用者編】	５月２７日・１１月２０日
	中堅社員研修１【身に着けたい知識やスキル】	５月１４日　★５月１５日 ９月１１日
	中堅社員研修２【後輩の指導と育成】	６月１１日　★６月１２日 １０月　９日
	中堅社員研修３【求められる役割と果たすべき責任】	７月　９日　★７月１０日 １１月１３日
	中堅社員研修４【ロールモデルを目指す】	８月　６日　★８月　７日 １２月１１日
	主任・係長クラス研修１【コミュニケーション編】	５月２２日　★５月２６日 ９月１７日
	主任・係長クラス研修２【モチベーション編】	６月１６日　★６月１９日 １０月１５日
	主任・係長クラス研修３【キャリアビジョン編】	７月１４日　★７月１５日 １１月１８日
	主任・係長クラス研修４【チームリーダー編】	８月１９日　★８月２０日 １２月１７日
	管理監督者研修１【管理監督者の役割と責任】	５月１２日　★５月１９日 ９月　９日
	管理監督者研修２【チームワークで目標達成・成長サポート】	６月　３日　★６月１０日 １０月　７日
	管理監督者研修３【管理監督者としての基本対応力ＵＰ】	７月　８日　★７月１６日 １１月１１日
	管理監督者研修４【環境を変化させる力をつける】	８月　５日　★８月２４日 １２月　２日
テーマ別研修	労働基準法研修	１０月１６日
	新しい時代の安全・衛生管理手法	９月２５日
	ストレスマネジメント研修	９月　７日
	職場のハラスメント防止研修	９月２８日
	営業担当者研修	１０月２２日
	コンプライアンス＆リスクマネジメント研修	１１月２５日
	若手社員研修【必要な知識・スキル・思考】	９月１８日
	モノゴトの捉え方研修	１１月　４日
	採用担当者研修（採用から定着編）	８月１８日
	アンコンシャス・バイアス研修	８月２７日
	新規採用者の安全衛生研修	４月１７日
	育成担当者研修（ＯＪＴ育成編）	９月２９日

	ベテランズ研修【ベテランの経験を活かす】	１０月　６日
	接遇マナー研修【接遇スキルアップ・クレーム対応研修】	９月１０日

２　コンピュータサービス技能評価試験

コンピュータを活用した各種のサービスを行う人々の能力を評価するとともに、技能向上を図るために、中央職業能力開発協会と共同で、コンピュータサービス技能評価試験を実施する。

中央職業能力開発協会から認定を受けた認定施設で学んでいる方は（１）の認定施設で受験し、認定施設以外で学んでいる方や独学でパソコンを学んだ方などの「一般者」は（２）の施設で受験する。

（１）認定施設一覧（１３施設）

認定施設名	所在地	認定施設名	所在地
宮崎職業訓練協会	宮崎市	日建学院延岡校	延岡市
モノリス宮崎	〃	小林高等職業訓練校	小林市
ケアセンターこんぱす	〃	日向地区職業訓練会	日向市
yoshiko foot and body academy	〃	合同会社 コラボレート	〃
都城地域職業訓練協会	都城市	西都職業訓練会	西都市
株式会社　スコラ	〃	東児湯職業訓練協会	高鍋町
オフィスネッツ	延岡市		

（２）一般者の受験施設

施　設　名	所　在　地
モノリス宮崎	宮崎市橘通東５－４－８　岩切第２ビル　２階
オフィスネッツ	延岡市祇園町２－５－２

３　ビジネス・キャリア検定試験

国が整備した「職業能力評価基準」に準拠した公的な試験で、職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的として、中央職業能力開発協会と共同で試験を実施する。

内　容	前　期	後　期
受付期間	4 月 20 日(月)～7 月 10 日(金)	10 月 5 日(月)～12 月 4 日(金)
試験実施	10 月 4 日(日)	令和 9 年 2 月 14 日(日)
合格発表	11 月 6 日(金)（２、３級） 12 月 11 日(金)（１級）	令和 9 年 3 月 12 日(金) （２級、３級　、BASIC 級）

４　若年技能者人材育成支援等事業（厚生労働省委託事業）

ものづくりマイスターの制度を設け、ものづくりマイスターによる若年技能者の実技指導や地域の技能尊重気運の醸成を図るための技能振興事業を行うことで、効果的な技能の継承や後継者の育成を行うとともに、「ものづくり・技能士」などに対する理解と認識を深める事業を実施する。

（１）地域における技能振興事業

① 技能五輪全国大会の予選の実施

② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援
③ 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援
④ 「地域発!いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応

（２）ものづくりマイスターの認定等事業
① ものづくりマイスターの開拓、認定事務
② ものづくりマイスターに対する指導技法講習の実施など

（３）ものづくりマイスターの活用事業
① ものづくりマイスターの派遣による指導
ｱ)中小企業、業界団体（実技指導）
ｲ)工業高校等学校及び専修学校・各種学校（公共職業能力開発施設を除く）への派遣（実技指導）
ｳ)公民館、集会場等の公共施設又はショッピングモール等民間施設のイベントエリア等への派遣（不特定多数の者に対する指導、ものづくり体験イベント、技能まつり等）
ｴ) 技能五輪全国大会等に係る指導等
② 若者に対する「ものづくりの魅力」発信
ｱ)地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対する「ものづくりの魅力」発信の実施
ｲ)小中学校の児童・生徒に対する「ものづくり魅力の発信」
③ 熟練技能者等による派遣指導

（４）連携会議の実施
行政機関、経営者団体等をメンバーとした連携会議の実施

５ 「技能まつり」の開催

技能者の技能水準の向上を図り、社会的評価を高めるとともに、広く一般県民に技能の大切さを理解してもらうため、宮崎県、宮崎県技能士会連合会との共催により開催する。

６ 第２１回若年者ものづくり競技大会への選手派遣

工業高校等で学ぶ生徒等の技能に対する意識を高め、若年技能者のすそ野の拡大を図ることを目的とした競技大会に選手を派遣する。

（１）参加資格　　工業高校、職業能力開発施設等において技能習得中の満２０歳以下の未就業者
（２）競技日程　　８月１日(土)～８月２日(日)
（３）競技会場　　富山産業展示館（富山県富山市）ほか
（４）派遣人数　　５名程度

７ 第６４回技能五輪全国大会への選手派遣

青年技能者の技術力向上と技能尊重気運の醸成を図るため、その技能レベルの日本一を競う大会に選手を派遣する。

（１）参加資格　　満２３歳以下の青年技能者
（２）競技日程　　１２月４日(金)～７日(月)
（３）競技会場　　愛知県国際展示場（愛知県常滑市）ほか
（４）派遣人数　　１２名程度

８ 生産性向上支援訓練の実施〔(独法）高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部委託事業〕

（独法）高齢・障害・求職者雇用支援機構宮崎支部（ポリテクセンター宮崎）が実施する生産性向上支援訓練機関として登録（令和８年１月更新）しており、県内中小企業等から要望があった場合にポリテクセンター宮崎からの依頼を受け組織マネジメント等の研修を実施する。

Ⅲ　技能検定関係

1　技能検定試験の実施

技能検定試験は、職業能力開発促進法に基づき、技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図り、ひいては県内の産業の振興に寄与することを目的として実施している。

技能検定の公示職種及び公示作業については、受検者のニーズ、産業界や企業の要望等を受けて県が決定しており、試験については協会が実施している。

受検者数については、定期試験、随時試験ともに、前年度実績から若干の減少を見込んでいる。

また、令和８年度は、以下のとおり技能検定試験及びその関連事業を実施する。

（1） 実施日程

期別／項目		前　期	後　期
実施公示		令和８年３月　２日（月）	令和８年　９月　１日（火）
申請受付		令和８年４月　６日(月)から 〃　４月１７日(金)まで	令和８年１０月　５日(月)から 〃　１０月１６日(金)まで
実技試験	問題公表	令和８年６月　３日(水)	令和８年１１月２７日(金)
	実施期間	令和８年６月１０日(水)から 〃　９月　９日(水)まで	令和８年１２月　４日(金)から 令和９年　２月１４日(日)まで
学科試験		令和８年７月１２日(日) 〃　８月２３日(日) 〃　８月３０日(日) 〃　９月　６日(日)	令和９年　１月２４日(日) 〃　１月３１日(日) 〃　２月　３日(水) 〃　２月　７日(日)
合格発表		令和８年１０月２日(金) 〃　８月２８日(金)３級のみ	令和９年　３月１２日(金)

＊随時２級、随時３級及び基礎級は随時実施。

（2）公示職種・作業数（基礎級・随時３級・随時２級を除く。）

区　分	前　期
公示職種数	２９（２８）
公示作業数	４５（４５）

＊（　）は令和７年度。なお、後期は９月に公示されるため未定。

（３）受検申請予定者数

令和８年度の受検申請者数は、前期・後期及び随時試験を合わせて２，５３０名程度を見込む。

２　宮崎県技能検定実技試験受検手数料助成事業

若年者の技能検定実技試験受検手数料の負担を軽減し、若者が技能検定を受検しやすい環境を整備することにより、将来にわたってものづくり分野を支える若年技能者の確保・育成を図る。

３　技能検定合格者に対するフォローアップ講習の実施

評価対象能力の変化の大きな職種・作業の技能検定合格者に対し、近年の技術革新等を踏まえたフォローアップ講習を行う。

（１）講習職種　　宮崎県で実施する技能検定職種から選定する。

（２）対 象 者　　宮崎県内に在住または就業している特級、１級、単一等級技能士

（３）講習回数　　７回

４　各種会議等の主催、参加

（１）都道府県協会技能検定課長会議出席（年２回：東京都もしくはＷＥＢ会議）

（２）技能検定水準調整会議（年２回：県央、県北）

（３）九州ブロック職業能力開発協会連絡会議（技能検定・訓練担当者会議）【長崎県】